

豚は、食肉動物です。

豚コレラ

更新日：令和元年10月8日
担当：消費・安全局動物衛生課

岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、大阪府、三重県、福井県、埼玉県で豚コレラの発生が確認されています。

豚コレラは、豚やいのししの病気で、人に感染することはない。仮に豚コレラにかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

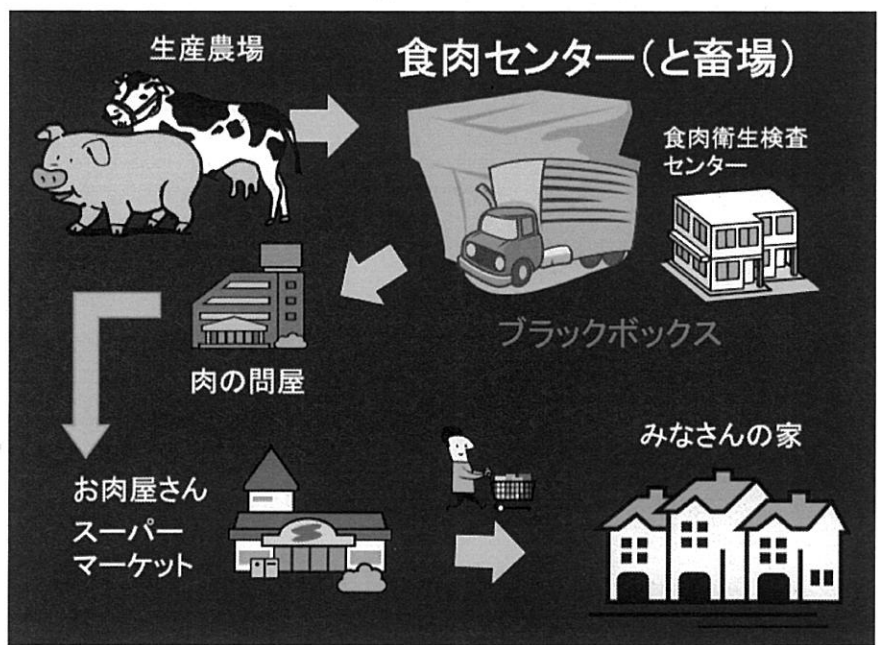
なお、豚やいのししには強い感染力と高い致死率が特徴のため、畜産農家の方は、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期摘発のための監視の強化に万全を期すようお願いいたします。

過去の発生

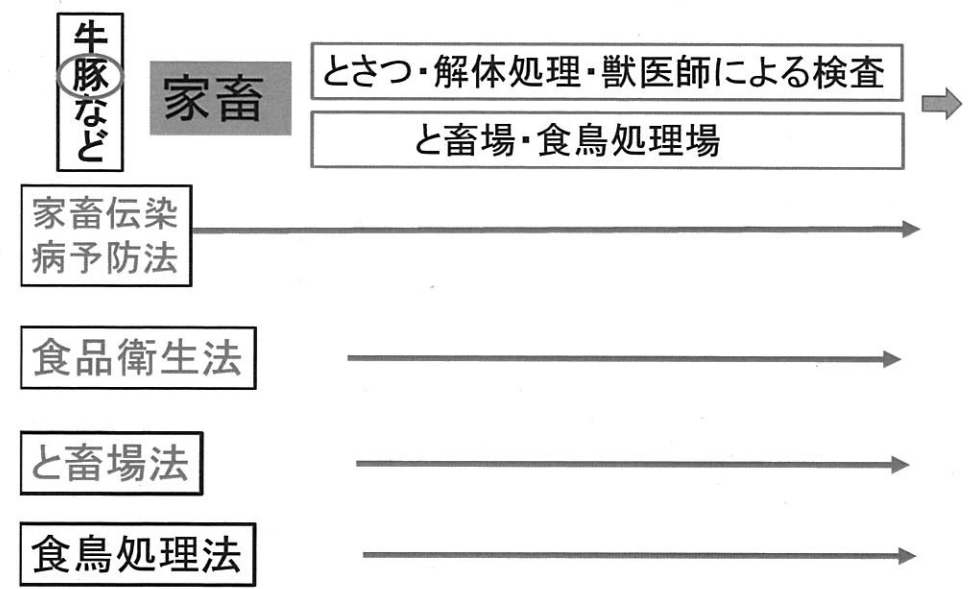
明治期から発生の記録がある。昭和期では養豚が盛んになるに従い豚コレラの発生が増加したが、平成4年(1992年)を最後に発生はみらなかった。



豚肉の生産、処理、販売から消費まで(フードチェーン)

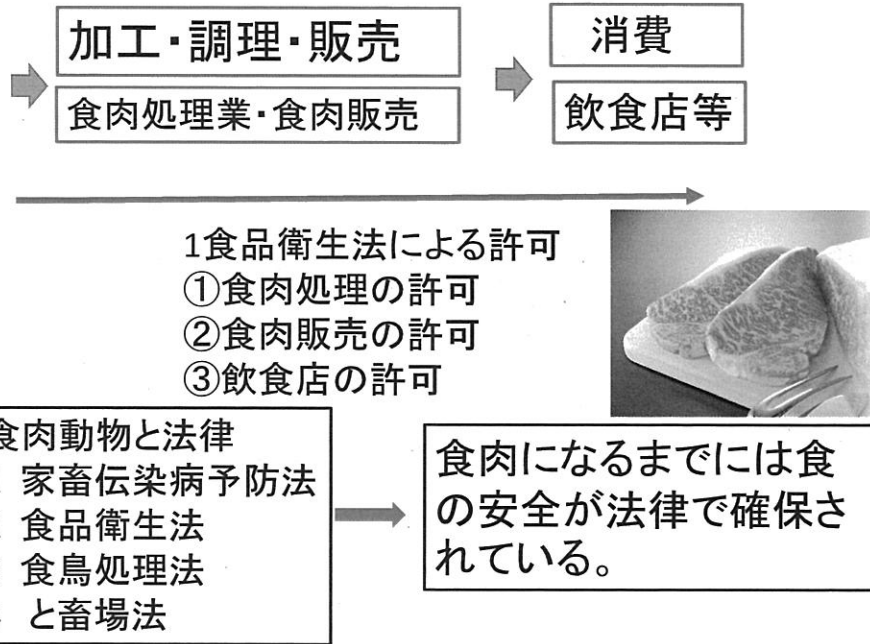
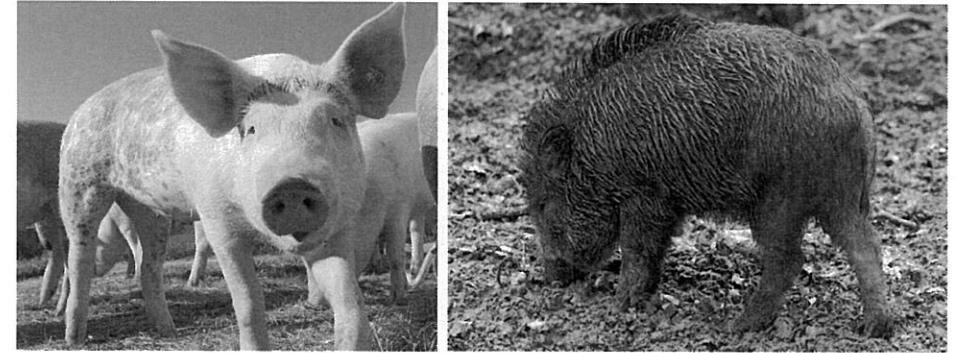


食肉動物と法律



豚コレラとはどんな病気?

豚コレラウイルスの感染による豚とイノシシの病気。
致死性や伝播性が高く、家畜の法定伝染病に指定されている。



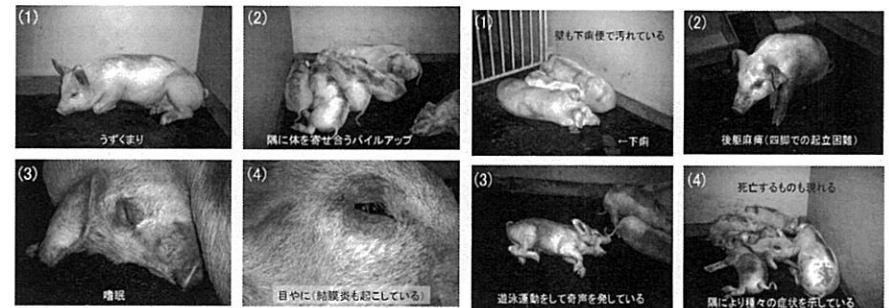
豚コレラはどのように広がるのか?

豚コレラにかかった豚やイノシシは、体にウイルスを持った状態となっている。
ウイルスは唾液、鼻水、糞などに排泄されるため、周辺環境が汚染される。

豚コレラにかかると豚やイノシシはどんな症状

発熱、元気消失、食欲不振、便秘に続く下痢から始まり、皮膚の紫斑や震え、起立困難などの多様な症状を示し、感染した豚の多くは3週間以内で死亡する。

農場では、複数頭に元気がなく、豚房の片隅に集まる、同居豚が複数死亡するなどの異変により気がつく。



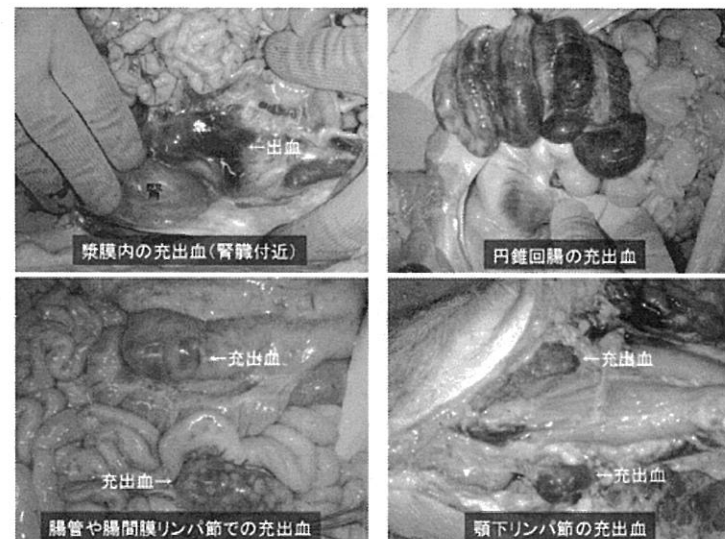
食肉処理場(と畜場)でみられる豚コレラの肉眼所見は

肉眼病変の出現頻度

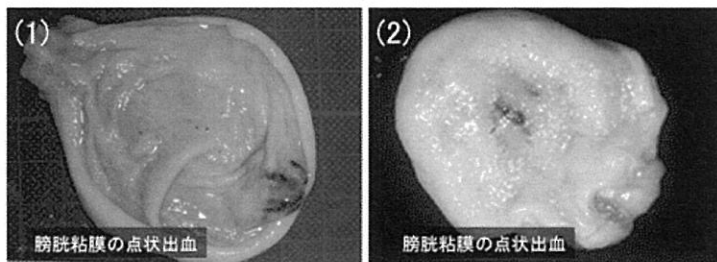
病変	出現率(%)
膀胱点状出血	79
脳充血	73
リンパ節出血	71
結膜炎	70
腎皮質点状出血	64
気管支肺炎	58
胃炎	45
扁桃炎	38
心筋変性	36
紫斑	30
脾臓梗塞	27
咽喉頭点状出血	24
急性カタル性大腸炎	21
ボタン状潰瘍	20

Dunne.H.et al.1952 Disease of Swine

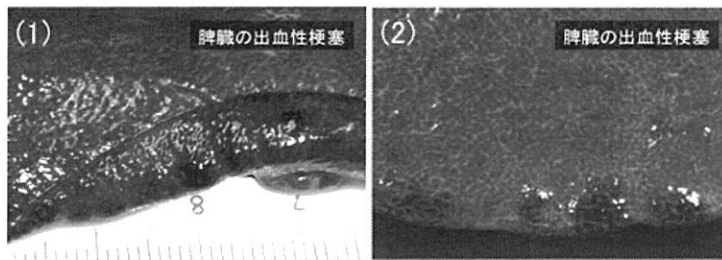
豚コレラの肉眼的病変



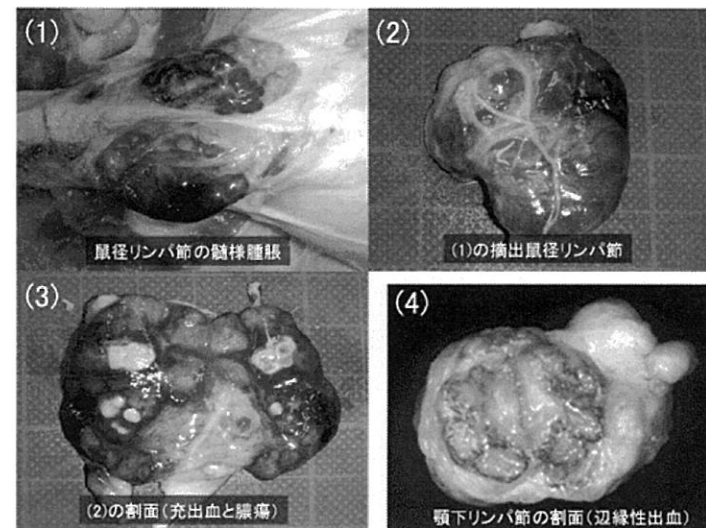
膀胱の点状出血



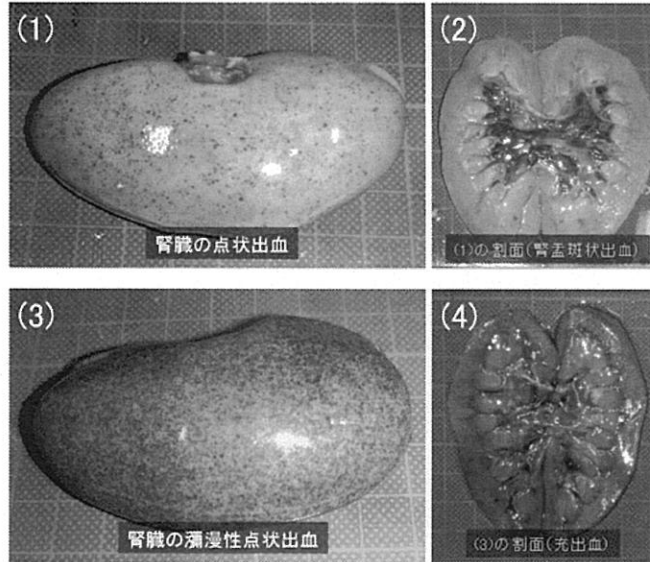
脾臓の梗塞



リンパ節出血

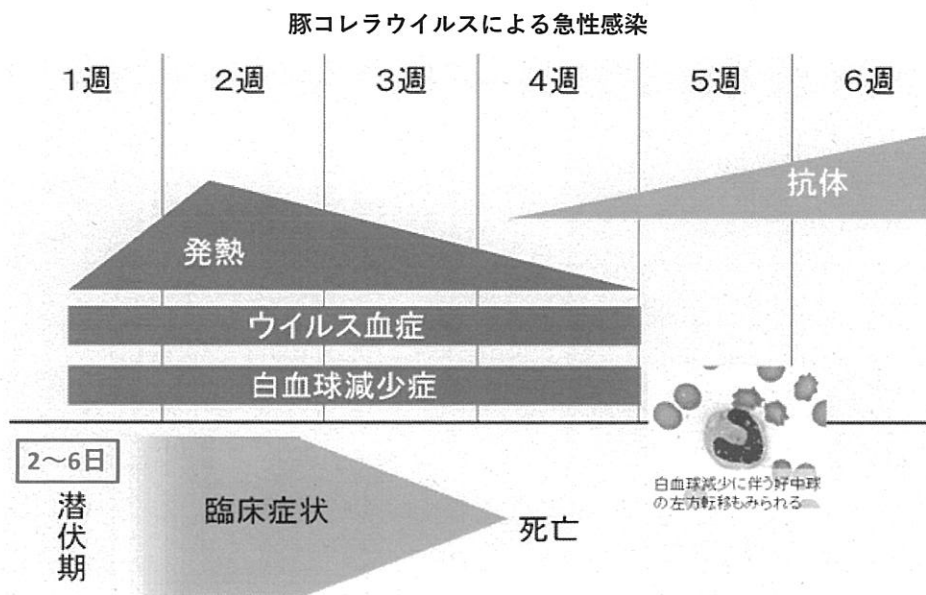


腎皮質点状出血



豚コレラは人に感染しますか

豚コレラは豚とイノシシにしか感染しない病気で人にはかからない。
豚コレラ発症豚肉が市場に出回ることはない。



一般的に発症から死亡するまでの期間が10~20日以内のものを急性豚コレラという。